



月刊サカタニ友の会ニュース

発行(株)サカタニ  
集西楽・サカタニ  
ファミリーマート  
サカタニ京阪七条店  
〒605-0993 京・  
東山区七条こころ坂下  
・075-561-7974  
URL www.sosake.jp/  
Eメール info@sosake.jp  
編集・酒谷義郎

# 昭和16年 12月8日を 思い出す

人蛾19 た天皇陛下がお可哀想と涙をなが  
41年し、その翌月二日に58歳で没し  
(昭16) た。元気な人だったが、徴用で  
朝7時、「炭鉱にまわされ、炭塵でやられ  
たのだろ」と後になつて私は思っ  
ている。

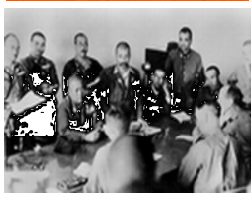
当時真教尋常小学校2年生だった  
私は、大きなラジオの「軍艦マー  
チ」の音で起こされた。日本放送  
協会のニュースの時間だった。「  
帝國陸海軍は、本日、西太平洋  
に於いて米英両国と戦闘状態に入  
れり」と何度か繰り返していた。

「遂にやったか! ヨツシャヨツ  
シャ」と祖父が大喜びをしていた。  
登校すると、講堂の上にある「ス  
ピーカー」からも大音でそのニュー  
スが流れた。少し寒かったが晴  
の日だった。

祖父は明治生まれ、日清・日露  
戦争、そして支那事変で優勢な日  
本は絶対正しいと思っている人だっ  
た。その4年後の敗戦詔書のラジ  
オを聴いて、私たちの力が弱かつ

写真には「映画」中は新聞写  
真でシンガポール陥落、下は戦後  
の「闇米」を賣出しの状況写真。  
たった4年の間に大きな犠牲を払っ  
た。ニュースは管理され悪いこと  
は隠された。「貴方の隣にスパイ  
が居る」という標語もあつた。

戦争反対派は、殆  
ど「獄」に入れら  
れていた。共産党  
の徳田、志賀氏は  
18年獄にいたと戦  
後知る。私は12歳



戦争反対派は、殆  
ど「獄」に入れら  
れていた。共産党  
の徳田、志賀氏は  
18年獄にいたと戦  
後知る。私は12歳

## 朝粥食べておシャベリ会 報告

第108回 定例第3日曜日  
11月17日 朝9時



お話し橋本敬良先生

今回は、橋本セミ  
指導教官をなされている  
橋本改良(けいりょう)先生に  
「孫と付き合う方法」  
子供たちと上手に付き合う  
にはこのお話を通しました。  
先生は大学、小学校で、子供  
の成長や発達理論と実践を  
お教えされています。  
おシャベリ会参加の方々は、  
高齢者も多く、「子供目線」で  
高年齢、間違っていた場合に愛  
情を持った叱り方をします。  
そして自分たちも正しい生き方  
をすることが大切だとお話しさ  
れました。お聞きしながら私も孫  
との接し方を反省しました。

だから生まれる前からと驚いた。  
そんなニュースは全て隠されて、  
官憲でガードされていて、都合の  
悪いことは全て隠されて終ってい  
た。今、衆議院で可決された「秘  
密保護法案」もきな臭く感じる。  
この頃でも「軍艦マーチ」が流れ  
だかから生まれる前からと驚いた。  
そんなニュースは全て隠されて、  
官憲でガードされていて、都合の  
悪いことは全て隠されて終ってい  
た。今、衆議院で可決された「秘  
密保護法案」もきな臭く感じる。  
この頃でも「軍艦マーチ」が流れ

操 階段で、番外は「酒の粕」。  
朝 を使って乾布摩擦 手首腕  
を鍛え後 全身腕  
立伏せ50回の体操  
20分。 階段は2  
Fの仕事場と店の上下  
で毎日4百段上り折で  
す。外出でも「エレベ  
ーター」かいません。番  
品として毎日食べ、顔手にぬり  
こみます。酒粕を食べ毎日続け血  
圧が下がり医師さんが驚かれまし  
た。化粧品効果は、私を見てご判  
断ください。良い酒粕使用中。

「とんからりん」も171号。  
とんとんと書いていたものが  
近頃は時間、否日数が要るよ  
うになりました。  
それだけならお許し頂ける  
だろうが、先月書いたことを、  
又書いていることが再々有る。  
チヨツとボケたか。  
11月は9月決算を完了する  
月。おまけに30日しかない。  
ヤット一昨日できた。大した  
額では無いが黒字だった。  
交際費は殆ど0に、交通費  
もタクシー代ない。経費を極  
端に抑えた結果だ。私用の酒  
は店のお客様のお金を払う。  
そのお陰の黒字・その作業  
中に東京都知事に五千万のニュー  
スがあつた。貰ったか借りた  
が知らないがその金額に驚く。  
戦後暫くは「公務員は俸給  
は安い」「年金」が保証され  
た。今は給料も良いし賞与や  
退職金も安定だときく。  
「官得民貧」の傾向が常にな  
ったと思う。世の中が此の  
俸では不安感を持って越年だ。  
革命という言葉を抱かしく思

どんつき  
アット言つ  
間に師走12月  
もう直ぐお正月と思つても中々  
来なかつた子供時代とエライ  
違い。  
過ぎ去つた年月も昨日今日  
に様に思い出せるのに、今先  
に手を放した「老眼鏡」をさ  
がすこの頃です。

# ヨシイちゃんの ひとりごと



## 運・鈍・根

### 第五話

新装開店  
から二ヶ  
月後の十二

月「立ち飲み酒処サカタ」の東隣家の店先一部屋で開きました。営業主は酒税法の絡みで「家内」。サラリーマン家庭育ちの家内は「酒場」は嫌がったが、「こり押し」で進め、店はカウンターと調理場で椅子は無し、24人で満席のスペースで夕方五時〜八時の三時間。当初は、暖簾と店先の看板だけ、酒のアテは「おでん」と乾き物のスターです。

私自身の名義で錦高倉西角から二軒目(南側)で「神馬酒場」を開いた経験があり「おでん」は何かとつくられたから。(今「ラーメ」ン屋」だが上部の酒蔵風壁面はそのママ)。その運営は、昔、店の丁稚さんで私のお守役の「マサはん夫婦に任せていたので「マサはん」に手伝って貰い細々と始めました。非常に安い値段で早々に客数が増え家内も見かねて手伝ってくれ、二回場所を広げました。株サカタニも特売や業務用販売をして売り上げも増えだした頃「酒卸」時代の知り合いから、高松酒卸屋の弟さんが「映画村」で「ついでん店」をするのでお世話を頼ま



カクタニも特売「ワン・ツウ・スリー・セール」を継続、売り上げも伸び続けています。

れ、お付き合いが始まりました。その方が市内でついでん店「めん坊」を始められ、私共から資材納入をするようになり、めん坊N社長が「立ち飲み屋では勿体無いっ

どん屋としては」と言われ、K君を雇い、ついでん屋の修行をさせ「立ち飲み」を「ついでん屋」東山めん坊」を開店しました。(昭52:1977)12月)マダ借金も多く、空

調は「場所」だけつくり本体はいれられませんが、スタートは「きつねうどん」で「キツネ」で行列が出るほどご来店がありました。が、特売が終わると極端に減りました。夜は「立ち飲み時代の値段」が引きでお客様も何とかが採算がとれませんでした。そして年が明けました。博物館が当時話題の「安宅コレク

## 気づけな

### あきまへん 石動敬子

年賀状の作成講座がパソコン教室でも盛んに開かれています。例えば、雪の年賀状、干支の馬盛り年賀状など語風、鞍馬風、さらには、宇宙的年賀状となると、無理に決まっています。昨年、母を亡くしたので一年ぶりである。長年お世話になった「ぷりんとこ」にもついにサヨナラだろ。子供たちの絵やわたしの気まぐれア、トや句、夫のピアノ演奏会のお知らせなども兼ねたり、ずいぶん楽しんできました。宛先は墨書で心がけても、年末は無理で年が明けての正月気分のおかげで墨をするのがいい。わけ、なかで墨をするのがいい。わけ、万年筆も欠かせない。例年、単身赴任中の夫がパソコンで住所、氏名など最低限は印刷し、私はその他の空白と格闘してきた。でも今年、せっかくなので習いだったパソコンの力を借りて、オンリーワンをめざしたい。

出来立ての俳句も添える。入門以来二十余年。どなた様にもお分りいただけ、目出度く、ふさわしい句が、さて授かりますか。子供たちからは、七五三の写真だったりする。先日付き添ったから、想像はつくが、まあ、一

枚ほどの中から、一番を選ばなければ、どこの、王子様かと目を細め、はい、お年玉となる次第だが、そんなありきたりはどうかとおもつ。気に入らない。オンリーワンを愛する口癖からすると、もっと面白いことはないものか、とな。五歳の誕生日プレゼントも去年は自転車、今年は何と聞くのもどうか、と思ひ百回アートを打診した。案の定、なにそれ、と一笑に付されてしまった。植物園、鴨川、京都御所、下賀茂、上賀茂神社、御霊神社などへの散歩、外遊びにくわえ、合唱団や書道教室や旅行など愛がいつぱいの「福袋」で予算も時間もかなりの覚悟だったのに。全く現金なだけの娘だ。詰まらん。誰に似たのだからつか。そのくせ、連日のように、隣の学区から家政婦さんがあてにされ、呼び出される。だから携帯電話なんて思っても後の祭り。待てよ、テレビの家政婦はもっと強かった。これからは、などと思う間もなく、マタ、メル、なぬ? 「お母さんテレビ見て。正しい自転車から乗る方教えてるから」。ふん、そらね、うん年前でしょ? 電柱と激突して、忽ち左足は、ぎぶすに松葉杖となったのは、あれは、雨の夕方、携帯で急がされ、レインコート帽子がいや、対向車のライトが、とまあ、言い訳をつ

## 「チャン」で 呼ぶ友が又一人

子供時代からこの地で住んで、80年幼友達も多い。親しい友は「ちゃん」をつけて呼び合った。私は「ヨシイちゃん」と呼ばれた。今もご近所ではそう呼んでくださる方もある。先日近所に住み、今は山科に移り住むタケちゃんの奥さんから、「うちの人が会いたい」との電話が入り病院に行った。肺癌になり入院していることは知っていて直ぐにいった。大分弱っていたが、一時間余りは手を握りあいながら話をした。「ツイ手本人も死を覚悟しているだ。

「頑張れとは言わず、必ず行くから急いで呼ぶなよ」というギョッと力を込めて握り返した。60年以上の付き合いで一度も喧嘩せず、私を支えてくれた友。翌々日に無く亡くなった。又一人、ちゃんと呼ぶ奴が減った。信ちゃん・こいつちゃん・のぶちゃん・あつちゃんらに直しく。当分呼ぶな。

# 大きな星が 一つ消えた



人には、た小説「父の肖像」で、父君家族や友人以外に「女性関係」で屈折した悩みと闘いながらお育ちになつた人。その悩みは我が父の女性関係の体験していた私も持ち、著者の心の痛みに共感し、よく理解できた。

その堤清二氏 私が大きな負債のある法人只一度お会いしたのは、数規模的には、月(西友設立)年前、京都中とスッポン(サカタ)の差はあるが、氏が西友を創り運転差資金の回転差で完済という手法を見本にし、事業基礎が固めることできた。

話をして、京都駅までお送りした。たのも堤清二氏が率いる「セ」車中で「ファミマ」のことで、少「ファミマ」の「ファミマ」し質問をしたが、丁寧に応じてく「無印良品」を感じられる。マミマで扱えなからであった。

氏は、政治家で衆議院議長を勤めた堤康次郎氏のご子息。東大在学中に共産党に入党、後、除名。闘病生活を経て、父君の率いる西武百貨店に参加され、同百貨店の不採算で危機に陥っていた口スヤサンフランススコ店の撤退に「大きな星」が一つ消え様を見事な手腕を發揮され、更に「セゾングループ」の創設者として経済人として活躍された。

また一方では、著名な小説家「辻井喬」でもある。氏の小説は殆ど読ませて戴いた。詩集は、難しくた馴染めなかつた。

「氏」の野間文芸賞を得られ

た小説「父の肖像」で、父君家族や友人以外に「女性関係」で屈折した悩みと闘いながらお育ちになつた人。その悩みは我が父の女性関係の体験していた私も持ち、著者の心の痛みに共感し、よく理解できた。

私が大きな負債のある法人只一度お会いしたのは、数規模的には、月(西友設立)年前、京都中とスッポン(サカタ)の差はあるが、氏が西友を創り運転差資金の回転差で完済という手法を見本にし、事業基礎が固めることできた。

たのも堤清二氏が率いる「セ」車中で「ファミマ」のことで、少「ファミマ」の「ファミマ」し質問をしたが、丁寧に応じてく「無印良品」を感じられる。マミマで扱えなからであった。

七歳歳下の私は、氏の家庭的な悩み・共産党・経済人としての生き方の流れと(大小差はあるが)相通じるもを感じて、我が生き方の先導者のように思っていた。その死は、淋しい想いする。

堤 清二(辻井喬)氏の「冥福を祈りつつ」。

お断り 堤清二様の訃報に接し通常の「とんからりん」の原稿を差し替えました。

京都&東山  
ぶらりピカリ  
秀吉と瓢箪  
45  
P3予定の記事を変更しました

# 市電が走った 京都を巡る 33



百万遍交差点から、東へ向かう市電に乗って、銀閣寺道方面に向かいます。

この区間は昭和四年開業と、比較的後年の開業です。京都市電の路線図は、碁盤の目状になっていますが、これからの区間だけが、飛び出した形になっています。

今出川の南側は京都大学の構内が続く、北側は前号で紹介した知恩寺、それに、古書店や飲食店、喫茶店など、学生街らしい店舗が続きますが、最近では、コンビニ、マンションも目立つようになりまし。



背後に京都大学の校舎を望み、農学部前に到着

店を持つ進々堂とは別法人になっていますが、ルーツは同じ。創業者の続木斉が、昭和五年、京都で初めてフランスパンを提供し、翌年には、この地に喫茶店を開業します。

創業者が留学先のパリで見た、日常の風景がありました。町のあちこちにあるカフェのある風景本を読み、学友と議論を交わす、カルチエラタンの学生たちの姿でした。「日本にもこんな空間が作られたら」。その思いを胸に帰国した創業者が、自ら建物を設計したのが今も姿をとどめる建物です。

以来、八十年以上、京大生に愛用される店として有名になりました。創業以来の黒光りする長テールは人間国宝の黒田辰秋の作。飾りのない、カフェというより格式のある図書館のような品の良さを感じます。以前は京大生の溜まり場として、時には教授を囲みながら、ゼミ教室代わりに議論を交わした場でもありましたが、いまは、すっかり観光名所となった感があります。

懐かしい学生街の風景が途切れると、北側にも、京都大学の構内が始まります。北部構内と呼ばれる京都大学の農学部、理学部です。間口はそれほどありませんが、奥へ行くほど広がり、構内には農場やグラウンドもあります。農学部は大正十一年、今出川の北側土佐藩の下屋敷跡に設置されます。



銀閣寺前方面から、ゆるやかな坂を下って、農学部前に到着する

その後、理学部も移転してきます。表門、門衛所は、その当時のもので、登録文化財に指定されています。

その構内が終わるところ、市電が少しずつ勾配を上り始めるところに「農学部前」の電停があります。電停の名称に、大学名を採用する例は多いのですが、学部名が採り上げられるのは、全国的に見ても珍しい例です。今出川の南の本部構内と区別するため、あえて大正年間に来た農学部を電停名としたのでしよう。現在の市バス停留所も「京大農学部前」となっています。

電停のすぐ北に、うっそうとした社が見え、なにやら陵墓らしきものが見えます。近寄ってみると、宮内庁の立て札が、鎌倉時代の第九十四代天皇、後一条天皇北白河陵です。京都大学に囲まれた街の中の陵墓なもの、いかにも京都を感じさせます。

# 酒屋で生きて 生かされて



## 第八十五話 酒屋の秘め事

今、正に国会で秘密保護法が可決されようとしています。秘密は30〜60年解除されないとか。この欄記載の話は60年以上の昔話、公開しても良いだろうと書きました。

戦中戦後、日本政府は「米を統制」し闇米を買わないと家族が飢えるような時代でした。当然酒造米も制限され極端な「酒不足」それを補つ形で昭和11年、鈴木梅太郎氏の手で「理研酒」合成品酒が開発されました。

米を使わず、エチルアルコールを水薄の度数を下げ、それに酒白酸・クエン酸・グルタミン酸ソーダー（味の素）琥珀酸等・甘みは、単舍利別シロップ、色は「カラメル」で日本酒にそっくりなものです。飲用アルコールは、当時は薩摩芋、後には砂糖の搾りかすです工業的につくりまします。当然、大きな設備がある会社、宇協和発酵理研発酵等が製造し、酒屋が販売しました。

有名銘柄ラベルを汚さないように「空瓶」を洗浄しそこに混和酒を詰め「ラベル銘柄」の価格で販売されていきました。

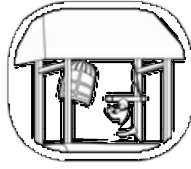
清酒と合成酒では酒税の差と、両者の生産コストの価格差も大きく、混合した酒では利益は増えます。酒税法でも禁止され、国家の大きな財源で、税務署の目が厳しく、混ぜると「罰金か免許取り消し」です。そこで日本酒は自店の名で「卸」から買、合成酒は、「裏」の架空に店の名で買。売るのは混ぜたことを隠して「日本酒」で販売する形がとられました。当時「酒卸屋」だった我が店もその

### 境界線の戦い！ 月二天

さて、師走に入りましたね。皆さんの年賀状は書けたでしょうか？私はいつも、紅白歌合戦の開幕から書き始め、除夜の鐘と闘っています。小学生の頃からこれを続けているので、かれこれ十八年。勝敗は私が三勝十五敗という所でしょうか？今年は何とかなることやら？と云うのも、理由ははっきりとあります。年越し支度に仕事を片付け、ほろこりしていると時間が無い。年賀状を急いで買に行き、ハンコのデザインをし、ハンコを押している間に紅白です！皆が観ている横で一人必死になって書き、除夜の鐘が始めると、猫が呼びに来るのです。「一声」にや

ことを承知してその方法で売っていました。税務署も当然知ってはいたが酒不足時代で「目を瞑っていたのでしょ。

そのころ（昭26）高校2年生だった私も店（酒卸）の仕事を手伝つており、休んだ「店員」の代わりに「ある酒屋さん」に集金に伺い、店員の遣込みを発見しました。調査すると被害額は90万。父はその店員は首切り、その年度の所得税申告で損金としましたが店員を「告訴」もしない申告は損金に認めないと役所いわれ告訴しました。それに伴って警察が「酒屋」さん裏付け捜査に入り、小売酒

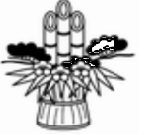


（タイムリミット）と。負けた時は、机に額を打ちつける勢いで倒れます。勝った時は、余裕で蕎麦を食べます。では、十一月の内に書いとけばいいじゃないか！いえいえ、そういう訳には参りません。だって十八年間続けていることなんですから、今年も紅白から始めますよあー！

店の「裏」の架空口座がバレ、税務署も致し方なく酒税法違反で「酒屋」に「罰金」を科しました。元々私共の不始末からご迷惑を掛けただけで、信用喪失し「お得意先」を多く失いました。当然売り上げも激減、資金繰りも厳しくなり二年後「倒産寸前」になりました。当時「宝くじ」の最高賞金百万円、90万円は経営に大きく影響し、昭和29年、店は破産寸前の状況になりました。その頃、私は、酒屋を継がない気で、家を離れ水害があった井出町木津川堤防の小屋に住んでいました。追記今は「混和等販売段階」では絶対ありません、

取りです。でもやっている、あれあれよと、忘れていた事を思い出すんですよね。それだけ溜めていたこと何ですか？さて、今回の題名「境界線の戦い！」ですが、ええ、私の戦いは前文です。この時期に入ると、色々な境界線が見えてきますね。それに向かって走っていると、「やり残し」という思わぬ境界線とも遭遇します。

皆さん、これから目を背けちゃあいけません。気付いたなら、少しずつでもやってこそその新年。私の様に三勝十五敗でもいいのです。ただ一つ言えることは、やはり闘うのは年賀状と除夜の鐘がいいと思います。



### 編集後記

11月は6月

決算完了して法人税消費税込申告する月です。その作業は殆ど編集者がしています。小さな会社ですから、長年最後のチヤクと書類作成を会計士さんにお願する形になりました。所が今年には悪戦苦闘でこの25日まで掛かってしまいました。エアー成績ですか。チヤクとだけ黒字でした。見事な始末をしたの結果です。交際費は飲食店・旅費交通費には多クシ代も殆ど0です。会社（個人私）の区別を厳しくしています。飲むお酒もお客様と同じ価格が買えます。

永年の貧乏生活が身に沁み込んでいたので、チヤクと肝意で融通の利かない性格からでしょうか。そんなこととんからりん作成に影響し、一日お休みできる方、遅れました。お許しを。表向きの言「訳を書いたが、実際は能力低下。否脳力だ。若かっても歳には勝てません。おまけに「バカ」まで反抗して命令を無視。来年早々満80。工加減にははれと誰かが言っています。そつやな。と思いつながら、来年は最後の勝負の年。年明けに改めてお願いしますが、応援を宜しくお願いします。馬町空襲機出来マッセー！

1・16 馬町空襲機出来マッセー！